

平成 21 年 5 月 15 日(金)

会 社 名	株 式 会 社 ト マ ト 銀 行
代 表 者 名	取 締 役 社 長 中 川 隆 進
コ ー ド 番 号	8542 (東 証 1 部、大 証 1 部)
問 合 せ 先	
責 任 役 職 名	取 締 役 経 営 企 画 部 長
氏 名	横 林 光 司
T E L	(086)221-1010

新中期経営計画「トマト MOTTO² プラン」の策定について

トマト銀行(取締役社長 中川隆進)では、今後 3 年間(平成 21 年 4 月～平成 24 年 3 月)を計画期間とする新中期経営計画『トマト MOTTO² プラン ～MOTTO身近でお客様に信頼され選ばれ続ける「じぎん(地元の銀行)」へ～』を策定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 「トマト MOTTO² プラン」の策定について

当社は、平成 19 年 4 月より 3 カ年の中期経営計画「トマト MOTTO プラン」を進め、一定の成果をあげてまいりましたが、計画の前提である経済金融環境が激変し、一部の実績と目標との間に乖離が生じることとなりました。

そこで、現在の計画を平成 20 年度までとし、現下の経済金融環境を踏まえ、平成 21 年 4 月をスタートとする 3 カ年の新中期経営計画「トマト MOTTO² プラン」を策定いたしました。

新計画では、新たに「地域経済・社会への貢献」を重点目標に加え、中小企業等に対する円滑な資金の仲介機能の発揮に一層取り組んでまいりますとともに、環境への配慮、地域の活性化、安心安全の確保への取り組みを強化し、引き続き地域の皆さまにとって身近で存在価値のある「じぎん(地元の銀行)」を目指してまいります。

「MOTTO」とは、
「お客様にとってもっと便利で、もっと満足度が高く」、
当社が日々着実な努力を重ねることで、「もっと企業価値の向上を図る」という当社の目標を、社名である TOMATO の一部文字を並び替えることによって表現したものです。

「MOTTO²」とは、
新中期経営計画の方向性や考え方は従来の MOTTO プランを継承するとともに、新たな重点目標を加えて、さらにより相乗効果を出していこうという思いを「MOTTO²」と表現いたしました。

2. 中期経営計画のテーマの継続

～MOTTO身近でお客様に信頼され選ばれ続ける「じぎん(地元の銀行)」へ～

「トマト MOTTO² プラン」は、「トマト MOTTO プラン」のテーマである『MOTTO身近でお客様に信頼され選ばれ続ける「じぎん(地元の銀行)」へ～』を継承し、「お客様満足度の向上」、「企業価値の向上」および「地域経済・社会への貢献」を重点目標と定め、それらの目標を達成するために、「MOTTOお客様満足度向上サイクル」と「MOTTO企業価値向上サイクル」の 2 つのサイクルにより、お客様サービスの充実を図ってまいります。

3. 計画期間

平成 21 年 4 月～平成 24 年 3 月(3 年間)

4. バンキングビジョン

お客さま(地元)にとっての MY BANK
株主の皆さまにとっての MY BANK
社員とその家族にとっての MY BANK

5. 重点目標

- (1)「お客さま満足度の向上」
 - 「お客さまの満足のために」を徹底してまいります。
 - コンプライアンス絶対優先の風土を確立してまいります。
- (2)「企業価値の向上」
 - 経営力、営業力、信用力の向上を図ります。
 - 人材力強化による持続的な成長基盤を確立してまいります。
- (3)「地域経済・社会への貢献」
 - 中小企業金融の円滑化等への取組みを強化してまいります。
 - 地域社会の活性化への貢献を強化してまいります。

6. 重点施策

- (1) 「お客さま起点」の発想と行動によるお客さま満足度(CS)の向上
- (2) 営業チャネルの再構築などによる地元顧客基盤の拡大およびコスト・リスクの適切なコントロールによる収益体質の向上
- (3) コンプライアンス絶対優先、内部統制の強化、リスク管理の高度化による一層の信用力向上
- (4) 人材の育成強化と新基幹系システムの活用による業務態勢の再構築
- (5) 中小企業金融の円滑化、環境への配慮、地域活性化・安心安全の確保への取組み強化による地域経済・社会への貢献

7. 目標とする経営指標(単体)

「トマト MOTTO² プラン」では、最終年度(平成24年3月末)の目標とする経営指標を次のとおりとし、重点目標・重点施策に掲げる様々な取組みにより、目標の達成に向け全社一丸となって邁進してまいります。

(1) 収益性指標

項目	平成21年3月期実績		平成24年3月期計画
コア業務純益	39億円	▷	41億円
経常利益	5億円		16億円
当期純利益	2億円		10億円

(2) 自己資本比率

項目	平成21年3月末実績		平成24年3月末計画
自己資本比率	9.60%	▷	9%台後半

(3) 不良債権比率

項目	平成21年3月末実績		平成24年3月末計画
不良債権比率	3.88%	▷	3%台後半

(4) 金融円滑化

項目	平成21年3月末実績		平成24年3月末計画
貸出金残高	6,278億円	▷	6,600億円
中小企業等向け貸出比率	85.24%		90%程度
岡山県内向け貸出比率	88.25%		90%程度

(注)「中小企業等」とは、

資本金3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業、サービス業は5千万円)以下の会社または常用する従業員が300人(ただし、卸売業は100人、小売業は50人、サービス業は100人)以下の会社および個人をいいます。

以上

【本件に関するお問い合わせ(報道関係)】
経営企画部 藤岡 TEL 086-221-1057(直通)

「トマト MOTTO² プラン」概要

～ MOTTO 身近でお客さまに信頼され選ばれ続ける「じぎん（地元の銀行）」へ～
(平成 21 年 4 月～平成 24 年 3 月)

バンキングビジョン

お客さま(地元)にとっての MY BANK
株主の皆さまにとっての MY BANK
社員とその家族にとっての MY BANK

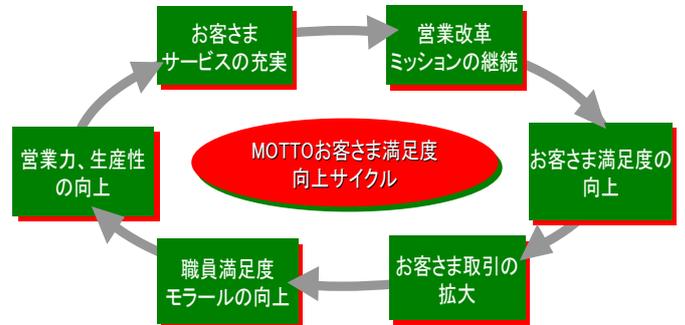
バンキングビジョンに基づく 重点目標

重点目標

1. お客さま満足度の向上

「お客さまの満足のために」を徹底
コンプライアンス絶対優先の風土確立

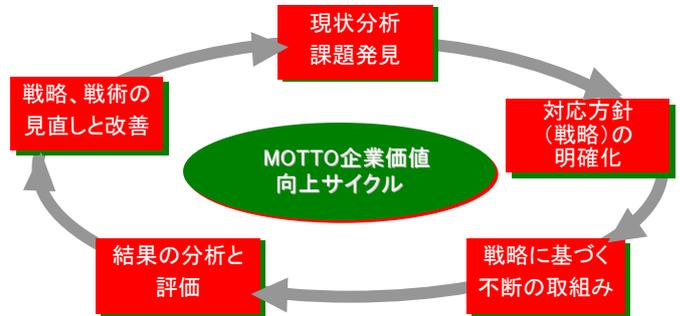
「お客さま満足度の向上」のため、「MOTTO お客さま満足度向上サイクル」を創造してまいります。



2. 企業価値の向上

経営力、営業力、信用力の向上
人材力強化による持続的な成長基盤の確立

「企業価値(経営力・営業力・信用力向上)の向上」に向けて「MOTTO 企業価値向上サイクル」を創造してまいります。



3. 地域経済・社会への貢献

中小企業金融の円滑化等への取組み強化
地域社会の活性化への貢献

バンキングビジョン、重点目標の 具現化を目指して

重点施策

1. 「お客さま起点」の発想と行動によるお客さま満足度(CS)の向上
2. 営業チャネルの再構築などによる地元顧客基盤の拡大およびコスト・リスクの適切なコントロールによる収益体質の向上
3. コンプライアンス絶対優先、内部統制の強化、リスク管理の高度化による一層の信用力向上
4. 人材の育成強化と新基幹系システムの活用による業務態勢の再構築
5. 中小企業金融の円滑化、環境への配慮、地域活性化・安心安全の確保への取組み強化による地域経済・社会への貢献